



市川市出身・濱田龍臣の半生を紐解くドキュメンタリー 「チバジン what a beautiful life」

2024年1月1日(月・祝)14:00~14:55

千葉テレビ放送（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：青柳洋治、以下：チバテレ）は、特別番組「チバジン what a beautiful life」を2024年1月1日（月・祝）14：00～14：55に放送いたします。番組では千葉県市川市出身の俳優・濱田龍臣さんが思い出の地を巡りながら人生を振り返り、今後の未来について語ります。また、番組のナビゲーターは同じく千葉県出身の山里亮太さん（南海キャンディーズ）が務めます。小島瑠璃子さん、高山一実さんに続く第3弾となる「チバジン」です。



チバジン
what a beautiful life



<ナビゲーター>
山里亮太（南海キャンディーズ）

チバジン what a beautiful life

<放送日時> 2024年1月1日（月・祝）14：00～14：55

<メインゲスト> 濱田龍臣

<内容>

幼少期から芸能界に身を置いている濱田龍臣さんは、市川市出身のチバジン。子役として特殊な幼少期を過ごした彼の地元を巡り、当時の記憶を辿ります。今でも通う地元のパン屋や、かつて訪れた公園にも訪問。普段見ることのない濱田龍臣さんのさまざまな素顔を通し、幼き日に芸能界に飛び込んだ際の心境や今後についてなど語られます。

※放送日時・内容は変更になる場合があります。

濱田龍臣コメント

○番組オファーが来た時の心境は

千葉で生まれ色々な地域で活躍されている人が半生を振り返る番組、と聞いて、まだ23年しか生きていないし、今でも地元に住んでいるので本当に自分で大丈夫なのか何度も事務所に確認しました（笑）色々な企画を準備いただき、色々な場所でロケを行い無事終わったので「良かったぁ」とホッとしています。

○今日のロケはいかがでした？

改めて思い出の地を巡って、視点が変わったなというか新しい視点で物事を見れるようになったなと感じました。単純に背が伸びたからかもしれないし、様々な経験ができたおかげかもしれないですけど、一つの視点で固定観念を持つのではなく、複数の視点から一つの物事を見る深さを知れたというか、あの時どういう視点でこれを見て、どういう気持ちだったんだろうと考えられるようになったと思います。

○一番印象的だった場所は

やっぱりピーターパンかな（笑）お店の外観も雰囲気もずっと同じ、レジはちょっと変わっていましたが、昔と変わらないままでパンはめちゃくちゃ美味しかったです。（イチオシは）香味ねぎチキンサンド、ボリュームもあって美味しいですね、でもカレーパンとメロンパンも美味しいですよ！病みつきになる味で一度知ってしまったら他のカレーパンは食べられない、と思うくらい美味しいです。

○ふるさとチバの魅力って

一度、県外に出て戻ってくるとより魅力が実感できると思うんですけど（笑）千葉は東京の隣でも、少し田舎感があって、町は住みやすいし、人は温かいし、パンも温かいし（笑）色々楽しめるスポットも多くて、いい意味で“普通”の町。“普通”ってすごい素敵な事だと思うんですよね、特徴が無いとか目立たない、才能がないって見られがちですけど、“普通”とか“普遍的なもの”の素晴らしさってたくさんあると思っています、東京という大都会の隣に“普通”にあふれている場所があるというのが千葉の誇れるところだと思います。

生まれてからずっと千葉に住んでいる僕ですが、思い出の地だったり、自分がまだ知らない千葉の素敵な部分を見つけられました、ぜひご覧ください！



学生時代、バドミントンの大会で訪れたという塩浜市民体育館で



幼少時代に来ていたアンデルセン公園で当時の思い出がよみがえります。



自身の声が駅の構内アナウンスに使われている新京成・くぬぎ山駅のホームで

濱田 龍臣 千葉県市川市出身 2000年8月27日生まれ。

2006年、子役としてデビュー。大河ドラマ『龍馬伝』で坂本龍馬の幼少役や、実写版『怪物くん』で市川ヒロシ役を演じる。「ゴールド ドリーム アワード2010」にて金の卵賞を受賞。2023年は、2023年度後期NHK連続テレビ小説「らんまん」にて最終章レギュラー出演し、また東宝舞台で主演を務めるなど、映画、ドラマ、バラエティと多方面で活躍中。